

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 Establishment of the diagnostic validity of enzyme-linked immunosorbent assay for the analysis of autoantibodies in immune-mediated necrotizing myositis

【研究責任者】 西野 一三

【本研究の目的及び意義】

本研究では、過去に診断目的で採取後、保存されている余剰検体(血清)を用い、免疫介在性壊死性ミオパチー(IMNM)症例の抗SRP抗体、および、抗HMGCR抗体の検出を行い、IMNMの臨床所見や病態に関する知見の蓄積や解明を目的としています。尚、全ての解析は国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部およびGangnam Severance Hospital, Yonsei University College of Medicineで行われます。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

「筋疾患診断支援と筋レポジトリーの構築」(倫理委員会承認番号: A2019-123、承認日: 2020年3月2日、最終版変更申請承認日: 2020年10月29日)において承認を受けた方法により、国立精神・神経医療研究センター筋レポジトリーにおいて保存されている試料を対象とします

利用する試料・情報等

試料: 筋芽細胞

情報等: 診断名、年齢、人種、性別、病理情報 (研究終了後、情報は廃棄されます)

研究期間

2021年3月24日より2024年3月31日まで

【共同研究機関】

Gangnam Severance Hospital, Yonsei University College of Medicine

Young-Chul Choi, Professor

Hyung Jun Park, Clinical associate professor

Seung-Ah Lee, Clinical fellow

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属 疾病研究第一部 氏名 西野 一三

電話番号: 042-341-2711 (代表)

e-mail: nishino@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml\_rinrijimu@ncnp.go.jp